第426輯

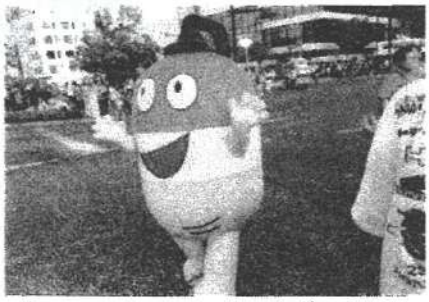
わが町三原

みはら歴史と観光の会

平成3年3月創刊
月刊

令和8年　9月号

猛暑にもめげない三原やっさ踊り



〔 ニューフェース　やっさボン 〕



〔呼吸ピッタリ 〕



〔 仲間と共に汗が飛ぶ総踊り 〕　R8.8.08 撮影　吉岡　利文(小泉町)
正田　哲夫(本 町)

連日の猛暑で出場辞退団体の続出が心配された今年のやっさ祭りだったが、蓋を開けてみれば、三原人は暑さにも強い。伝統を受け継ぐ保存会の洗練された踊りはさすがであるが、活気溢れる若者集団や大勢のメンバーが揃って同じ所作をするのも、迫力満点！そしておさな子も負けじと身体を揺する。観覧席も力が入り、三原人パワー全開で笑顔で満ち溢れた三原駅前広場であった。

九月の行事

各地会

21日(月・祭日)　各種敬老行事

10月03日(土)(9月26日の予定を変更しました)
勉強会「三原志稿 (4-1)」　10:00～　サン・シープラザ4F

目　次

第426輯　　（令和八年九月号）

P 1	表　紙… 表題：猛暑にもめげない三原やっさ踊り　　行事予告 写真：仲間と共に汗が飛ぶ総踊り・やっさボン他		
2	目次 / お西さん(西本願寺)	城　町	大坪　一夫
3～5	秋のバス研修旅行ご案内	沼田東町	西村　雅幸
6～9	講演会記録「忠臣蔵と三原」(2)　安田女子大学教授		島田　大助
11	レキカン創立25周年記念誌*発行断念！*		事　務　局
12	会よりの便り		事　務　局





長月（ながつき）　丙午（ひのえうま）　AJ2686　令和八年　AD2026

今月の各地　むラ　ムら。　マち　まチ　歳時記

おおさん（西本願寺）

城町　大坪　一夫

毎週日旺の夜、八時が楽しみです。NHKの大河ドラマ豊臣兄弟、佳境に入っております。我が家も浄土真宗西本願寺の門徒であります関係で興味津々です。親鸞上人以後の三代目門主覚如上人の時は、南朝と北朝に分かれて争っていました。八代目蓮如上人の時は、応仁の乱で京都は焼け野原になり、十一代顕如上人の時は、本願寺は織田信長と戦います。当時本願寺は、今の大阪城の場所にあり、今と異なり地形は海に囲まれて要塞としては最高の場所にありました。信長はこの地が欲しくて武力で奪い取ろうとしましたが、本願寺は必死で防戦しました。広島(安芸)からも多くの門徒さんが本願寺にかけつけて必死に本願寺を守ります。

信長は比叡山を焼き討ちにして三千人余りの僧侶、女子、子供を殺したと云われます。三重県の長島では信長と戦って門徒男女二万人が焼き殺され、戦いは十年間続きやがて和睦して本願寺は別の地へと移ります。後に豊臣秀吉が京都の地を寄進してそれが現在の本願寺となります。そして、秀吉は本願寺のあった場所に自分の城を築き、それが今の大坂城です。時は移り江戸時代になると本願寺は二ツに分離します。信長と徹底抗戦を訴え続けた顕如上人の長男は、父と別れて徳川家の助けで東本願寺を起こします。家康も大きな教団は二ツに分離した方が良いと思ったのでしょう。明治維新の時は東本願寺は幕府側となり、西本願寺は勤王派でした。

1864年京都市内で市街戦が起こります。勤王派の長州藩が幕府と薩摩藩合体で戦います。その時は薩摩藩は幕府側でした。これが世に云う蛤御門の戦いです。京都は火事となり、東本願寺は焼けてしまいます。その戦いで長州は敗れ、多くの藩士は亡くなり、残った数十人の武士が西本願寺に逃げ込み二十代広如上人に切腹をさせて欲しいと訴えます。しかし、広如上人は彼らを僧侶の姿にさせて逃がしました。

敵には念仏弾圧で有名な薩摩がいて、いつ西本願寺が攻撃をされても仕方ない状況なのです。広如上人はかつて本願寺が信長に攻められた時、長州の毛利元就に助けられた事を忘れていなかったのです。西本願寺八百有余年の歴史にも数多の人々の血と汗と涙の歴史があった事、テレビを観ながら想い起こしています。

レキカンだより

令和8年9月

検索 わが町三原

みはら歴史と観光の会
723-0051　三原市宮浦6丁目 9－32

～みはら市民協働サイト「つなごうねっと」加入団体～

レキカンは新入会員・再入会員を募集・歓迎しております

行　事　報　告

7月27日　月報発送配布作業（奥川、大原、岡田、小川、川上、桑田、高杦、正田哲、瀬畑、金森、西村、松竹、三好他）

8月03日　8月度理事会（バス研修旅行、県史協行事、市郷連秋季講演会など）

行　事　予　定

1. 勉強会

(1) 日　時　10月03日(土) 10時～12時 …9/26を10/03に変更

(2) 会　場　サン・シープラザ4F 第2研修室

(3) 内　容　「三原志稿(4-1)」の輪読

2. レキカン秋のバス研修旅行の参加者募集！

(1)日　時　11月14日(土)　時刻と乗車場所は
8:00 帝人旧正門前、　8:20 隆景広場

(2)研修先　岡山県井原市芳井町

(3)参加費　7,500円 (当日徴収、但し昼食弁当代は含みません)
釣銭のいらないよう。現地には食事ができる施設が無いため、各自弁当を持参ください。

(4)申込期限　9月30日(水) 但し、定員22名に達した時点で締切。

(5)申込先　正田哲夫 事務局次長まで。乗車場所を告げて下さい。

3. 行事予告

市郷連秋季歴史講演会　詳細は追って連絡します。
11月28日(土)　講師 愛媛大学 佐藤大規准教授